

2011年度 情報検索基礎能力試験

試験問題

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に氏名とフリガナを記入し、下の記入例を参照して受験番号を記入およびマークして下さい。
また、「選択したコース名」欄に「Aコース」または「Bコース」何れかを必ずご記入下さい。記入のない場合は、採点対象となりませんので、ご注意下さい。

記 入 例				
受験番号				
3	1	0	6	8
○0	○0	●	○0	○0
○1	●	○1	○1	○1
○2	○2	○2	○2	○2
●	○3	○3	○3	○3
○4	○4	○4	○4	○4
○5	○5	○5	○5	○5
○6	○6	○6	●	○6
○7	○7	○7	○7	○7
○8	○8	○8	○8	●
○9	○9	○9	○9	○9

3. 解答時間は、10：30～11：30の60分間です。

(裏面に続く)

4. 中途退席はできません。
5. 問題は18問、12ページ、解答用紙は1ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

問1 次の(1)～(5)の各文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (1) わが国で最初に情報という言葉を使用したのは、酒井忠恕少佐であるといわれている。
- (2) 日本工業規格の『JIS X 0001 情報処理用語－基本用語』では、データとは、「事実、事象、事物、過程、着想などの対象物に関して知り得たことであって、概念を含み、一定の文脈中で特定の意味を持つもの。」と定義している。
- (3) 講演や会議などの口頭情報は非記録情報である。
- (4) 研究開発中の実験記録などの非公開情報を一次情報という。
- (5) メディアの素材の特性により、記録方法、保存年数が異なり、メリット・デメリットがある。

問2 次の文章の(6)～(10)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

二次資料は収録する内容の詳細度の高いものから順に、(6)、索引誌、目次誌、(7)、書誌がある。二次資料の作成は多くは電子化されており、書誌の一部を除いてデータベースとして提供されているため、(8)をやめているものも多い。特に(6)、索引誌、目次誌は有料の商用データベースとして提供されているものが多く、利用に当たって利用契約などの手続きが必要である。一方、今まで有料で提供されてきたデータベースの中には、国立国会図書館が作成する日本全国書誌や(9)、米国国立医学図書館の(10)のように、Webサイトから無料で利用できるものも出てきている。

解答群

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|--------|
| a. CiNii | b. INSPEC | c. PubMed | d. 印刷物 |
| e. 雑誌記事索引 | f. 抄録誌 | g. 情報 | h. 目録 |
| i. ユーティリティ | | | |

問3 次の(11)～(15)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (11) 歴史的にも古く、最も身近な情報サービス機関である。これらのWebサイト開設は当たり前の時代となり、来館型サービスと非来館型サービスの両方に力を入れている。利用者の読書支援と必要な情報入手支援を行うことがその役割である。
- (12) 文献や情報の収集、加工、資料提供などを行い、データベース作成および提供などの総合的な情報サービスを行っている。国立情報学研究所、科学技術振興機構、国立環境研究所などがある。
- (13) 書誌情報を提供する公益事業体のことで、多数の図書館が参加し、オンラインで共同分担目録作業が行えるシステムを提供する機関のことである。国立情報学研究所や米国のOCLCが有名である。
- (14) 雑誌論文を中心として文献を複写して原報提供サービスを専門にした機関で、英国図書館文献供給センター(BLDSC)が世界的にも有名である。また米国のProQuest社(旧UMI社)、NTISなどがある。わが国では科学技術振興機構が有名である。
- (15) 膨大な数のWebページを収集し検索提供している機関である。Google社やYahoo社などは、その代表的な企業といえる。

解答群

- | | |
|---------------------|--------------|
| a. サーチエンジンをサービスする機関 | b. 書誌ユーティリティ |
| c. 情報処理センター | d. 情報センター |
| e. 相互貸借仲介機関 | f. 図書館とアーカイブ |
| g. 文献送付サービス機関 | h. 目録管理センター |

問4 次の文章の(16)～(20)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

コンピュータを使った情報検索サービスは(16)代に米国で始まった。その頃の検索サービスは、利用者が直接的に検索を行う形態ではなく、利用者が送付した検索要求に基づいて、サービス提供側の専門家((17))が検索をおこない、その結果が利用者に返送されていた。利用者が直接的にデータベースを検索するオンライン検索サービスが開始されたのは(18)代に入ってからのことである。

続いて、1980年代中頃に、コンピュータの補助記憶媒体として(19)が実用化されると、これを利用した新たな検索方式が加わることになった。(19)をつかった方式はオンディスク検索とも呼ばれる。また、ほぼ同時期には、OPACも普及し、情報検索の幅を広げるのに貢献した。その後、インターネットの爆発的な普及に伴って、1990年代半ばに(20)が登場すると、情報検索が一般の人々にさらに浸透することとなった。

解答群

- | | | | |
|----------|----------|------------|-----------|
| a. 1950年 | b. 1960年 | c. 1970年 | d. CD-ROM |
| e. MO | f. WWW | g. サーチエンジン | h. サーチャー |
| i. ユーザー | | | |

問5 次の(21)～(25)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (21) 索引語を抽出する作業のこと。
- (22) theやofなどのいわゆる機能語で、索引ファイルには登録されない語のこと。
- (23) テキスト中の文字列から語を識別し、それに品詞を付与する解析のことで、日本語の索引語の抽出に応用されている技術。
- (24) 重複させつつ2文字ずつ機械的に区切る方法のこと。
- (25) 検索を高速に実行するために、あらかじめ、各レコードから語句を抽出しておき、どの語がどのレコードに出現するかを記録したもの。

解答群

- | | | |
|----------------|------------|-----------|
| a. アルゴリズム | b. インデキシング | c. 形態素解析 |
| d. シーケンシャルファイル | e. ストップワード | f. 転置ファイル |
| g. バイグラム | h. レコード | |

問6 情報検索に関する、次の文章の(26)～(30)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

検索語を結合する論理記号は、一般的に(26)、(27)、(28)で表わされる。(26)は、「胃がん」または「すい臓がん」のいずれかに関する情報を検索するときに使用する。(27)は、「胃がん」と「薬物治療」の両方の語が含まれる情報を検索するときに使用する。(28)は、「胃がん」は含まれるが「大腸がん」は含まないという条件で検索するときに使用する。

英単語を使って検索するときは、単数形と複数形や、同じ意味を持つ異表記語がともに含まれるように検索しないと、検索もれの恐れが生じる。これを防止するため、トランケーション機能を備えた検索システムがある。たとえば、(29)の機能を使うと、documentとdocumentsがともに検索対象となる。また、colorとcolourを1語で検索するには、(30)の機能を使ってcolo?rのように入力すればよい。

解答群

- | | | | |
|--------------|---------|--------------|---------|
| a. フレーズ | b. 後方一致 | c. NOT (論理差) | d. 前方一致 |
| e. AND (論理積) | f. 前後一致 | g. OR (論理和) | h. 中間一致 |

問7 次の(31)～(35)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (31) 検索システムの操作方式として、もっとも古くから使われている検索方式
- (32) 現在の検索システムで多く採用されている、GUIを活用した検索方式
- (33) 検索された文献のうち、適合文献の占める割合
- (34) すべての適合文献のうち、検索されたものの割合
- (35) 検索結果から論文自体をWWW経由で入手できるサービスの一つ

解答群

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| a. コマンド検索方式 | b. 再現率 | c. 精度 |
| d. 総合検索方式 | e. 相互貸借サービス | f. 電子図書館サービス |
| g. ノイズ | h. フォーム検索方式 | |

問8 次の(36)～(40)のキーワードにもっとも関連する語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (36) キーボード、マウス、スキャナー
- (37) ASCII、JIS、EUC
- (38) GIF、PNG、TIFF
- (39) WMF、MPEG、AVI
- (40) HDD、CD-R、DVD-RAM、MO

解答群

- | | | | |
|-----------|-----------|--------------|----------|
| a. OS | b. 画像ファイル | c. 記憶媒体 | d. 出力装置 |
| e. 動画ファイル | f. 入力装置 | g. プログラミング言語 | h. 文字コード |

問9 インターネットに関する、次の(41)～(45)の説明にあてはまる最も適切な用語を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。
ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (41) 自由なタグの設定を可能にするWWW用マークアップ言語
- (42) インターネットにおいて、データの送受信に用いられているプロトコル
- (43) 電子メール・サーバ間で、データを転送するためのプロトコル
- (44) インターネットのひな型となった、米国国防総省が構築した研究用ネットワーク
- (45) WWW経由による検索サービスにおいて、サーバ側が検索処理を行うための仕組み

解答群

- | | | | | |
|------------|---------|-----------|---------|----------|
| a. ARPANET | b. CGI | c. DNS | d. HTML | e. JUNET |
| f. NNTP | g. SMTP | h. TCP/IP | i. UNIX | j. XML |

問10 次の文章の(46)～(50)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

社会基盤としてのインターネットは、もともとは(46)を結ぶネットワークとしてスタートした。その後商用利用が開始され、パソコンにインターネット用標準プロトコルやWebブラウザが標準装備されるなど、接続環境の整備が進められてきた。ネットワークのブロードバンド化も大きな影響を及ぼしており、2000年前後に登場した(47)や、(48)と呼ばれる光ファイバー網の整備によってネットワークの高速化が進んだ。

一方、ネットワークやUSBメモリなどを經由して(49)が侵入して、コンピュータシステムに異常をもたらしたり、(50)によってコンピュータに保存されたファイルが流出したりする問題も生じている。

解答群

- | | | | |
|---------|---------------|--------------|---------|
| a. ADSL | b. FTTH | c. LAN | d. 暗号化 |
| e. 研究機関 | f. コンピュータウイルス | g. ファイル交換ソフト | h. 民間企業 |

問11 知的財産権に関する、次の(51)～(55)の各文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (51) 知的財産権は、産業財産権、著作権、その他の権利に大別できる。
- (52) 産業財産権は、特許権、実用新案権、意匠権、商標権に分類される。
- (53) 産業財産権の所轄官庁は、文化庁である。
- (54) 意匠権は、文学や学術、美術、音楽といった文化的創作活動に関する権利である。
- (55) 特許権は、商品やサービスに使用される名称やマークを保護する権利である。

問12 著作権に関する、次の(56)～(60)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。
ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (56) 著作者の権利のうち、著作者にのみ付与され他人に譲渡することのできないもの
- (57) 放送や有線放送など、不特定多数の人々に対して著作物を送信する権利
- (58) 著作物を伝達する際に重要な役割を果たす人に与えられる権利で、俳優や歌手、演奏家、演出家などの実演家やレコード製作者、放送事業者および有線放送事業者が有するもの
- (59) 映画を除く著作物の保護期間として定められている年数
- (60) 私的使用の場合、著作者の許諾なく複製を行うことができると定めた条文

解答群

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| a. 公衆送信権 | b. 財産権 | c. 相互貸借サービス |
| d. 著作権法第30条 | e. 著作権法第31条 | f. 著作者人格権 |
| g. 著作者の死後50年 | h. 著作者の死後70年 | i. 著作隣接権 |
| j. 展示権 | | |

選択Aコース

問13-A 次の文章の(61)～(65)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

索引方式には2方式ある。(61)は、索引語の結合(組合せ)を索引作成時に行い、検索時には個々の索引語をそのまま単独で使用して必要な情報を検索する方法である。(62)は索引語の結合(組合せ)を検索時に行う方法である。一般に(62)の方が(61)に比べて高い再現率を期待できるが、適切な検索語を使用して検索式を作成したとしても、回避できない(63)が検索される場合がある。

検索時の概念合成の誤りをなくすためには、索引作業時に同一文献に付与された索引語に共通の記号を使用して関連付けておくことが考えられ、そこで使われる記号を(64)と呼ぶ。(64)は検索時に(65)を使用することにより表現できる。

解答群

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| a. 近接演算子 | b. 検索漏れ | c. シソーラス |
| d. 事後結合索引方式 | e. 事前結合索引方式 | f. ノイズ |
| g. リンク | h. ロール | i. 論理演算 |

問14-A 次の(66)～(70)の各文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (66) 自然語は、非統制語ともいわれ、われわれが日常使用している言葉のことである。
- (67) 自然語には索引者が主題分析を行って付与するフリータームと、主題分析を行わずコンピュータによって自動抽出した語とに分けられる。
- (68) コンピュータによるキーワード抽出は、索引作業の軽減やデータベース化のタイムラグを短くできる利点はあるが、さまざまな検索語を入力しないと検索漏れの原因となる。
- (69) ディスクリプタは、シソーラスや件名標目表の見出し語にはなっているが索引語としては使用できない語で、参照先の非ディスクリプタを索引語として使用する。
- (70) 自然語を使用して検索すると、検索漏れを最小限にできるなどの利点があるが、用語の管理やメンテナンスなどの手間や労力が必要となる。

問15-A 次の(71)～(75)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (71) 原文献の主題とその範囲を説明した抄録で、原文献を読む必要の有無を判断するのに役立つように作成される。長さは、欧文で30～50語、和文で50～70字程度である。一般に、総説、解説記事やモノグラフ(専門分野の単行書)に適している。
- (72) 原文献の内容で結果や結論を含む抄録で、原文献を読まなくても、内容の要点が理解できるように作成される。原文献の代用になるよう結果の数値などを含むこともある。長さは、欧文で200語前後、和文で400字程度である。一般に、原著論文や短報に適している。
- (73) 文献の作成者自身によって書かれた抄録で、論文や記事の本文と同時に掲載される。内容を一番良く知っている著者が作成し、原文献と同時に作成され、作成費用がかからない。反面、客観性に欠けたり、著者が知らせたいことだけを強調しすぎたり、書き慣れないため文章の構成が悪い場合もある。
- (74) 特定の分野、特定の主題、特定の用途など、ごく限られた内容を持ち、それらに興味をもつ限定された範囲内で読まれるために作成される抄録で、企業内や一機関内だけで使用することを目的としている。したがって、その企業内あるいは機関内だけで通用する形式、用語、記号などを使用できる。
- (75) 抄録を研究や調査の目的、方法、結果、結論というように原文献の内容を、項目に分けて記載する抄録で、医学文献などで採用されている。この抄録は、項目別に記載されているので読みやすい。また、ある医薬品が方法の項目で記載されたのか、結果や結論の項目で記載されたのかなどが明確に分かる。

解答群

- | | | | |
|---------|----------|----------|----------|
| a. 一般抄録 | b. 構造化抄録 | c. 指示的抄録 | d. 第三者抄録 |
| e. 著者抄録 | f. 同所抄録 | g. 偏向抄録 | h. 報知的抄録 |

問16-A 次の(76)～(80)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (76) 数値、画像、映像などの一次情報を収録したデータベース
- (77) 画像・音声情報と数値・文字情報を同時に表示できるデータベースであり、Webコンテンツなど現在身近に存在するもの
- (78) 利用者契約を結ぶ必要があり、有料で提供されているデータベース
- (79) 住所録やWebサイトなど、個人が作成し管理するデータベース
- (80) 文献の書誌事項、抄録など文字情報を収録しているデータベース

解答群

- | | |
|------------------|------------------|
| a. インハウスデータベース | b. オフラインデータベース |
| c. 商用データベース | d. パーソナルデータベース |
| e. ファクトデータベース | f. 文献データベース |
| g. マルチメディアデータベース | h. リレーショナルデータベース |

問17-A 次の(81)～(85)のデータベースの説明について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (81) CA/CAPLUSは、企業情報を収録したデータベースである。
- (82) 読売新聞、朝日新聞、毎日新聞などの記事は、いずれも新聞記事データベースを使って検索可能である。
- (83) LISAは、医学分野の外国製商用データベースである。
- (84) JSTPlusは、科学技術分野の外国製商用データベースである。
- (85) Derwent World Patents Indexは、特許情報が検索できるデータベースである。

問18-A 次の文章の(86)～(90)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

商用データベースは、一般にデータベースが作成されてから利用者が利用できるようになるまで、複数の機関または業者を経由している。(86)で構築されたデータベースは、(87)のホストコンピュータに搭載され、自社の(88)で利用できるように準備して利用者に提供される。

オンライン情報検索を行うには、(87)のホストコンピュータと利用者のパソコンを通信回線で接続しなければならない。通信回線を提供するのが(89)である。またWebサイトの検索には、(90)と契約してパソコンをインターネットと接続する。

解答群

- | | | |
|------------------|----------|---------------|
| a. インターネット・プロバイダ | b. 検索代行者 | c. 情報検索システム |
| d. 代理店 | e. 通信事業者 | f. データベース作成機関 |
| g. データベース提供機関 | h. 翻訳会社 | |

選択Bコース

問13-B 次の(61)～(65)のレポート執筆に関する説明について、適切であるものにはaを、適切でないものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (61) 文体は、ですます調を用いる。
- (62) 図表を挿入する場合は、それぞれ一連番号を付し、タイトルを添えて表示する。
図の場合には下部、表の場合は上部に標記する。
- (63) ワードプロソフトを用いて文章を作成する場合、特に指定のない場合はA4判用紙を横に用いて、1行あたりの字数を36字から40字程度、行数を30行から36行程度を目安とする。
- (64) ワードプロソフトを用いて文章を作成する場合、文字の大きさやフォントも重要な要素のひとつである。文字数とも関係するが、10.5ポイントの明朝体を使うことが標準的である。
- (65) 図表は、あくまで本文の内容を補完するものである。

問14-B 次の、SIST（科学技術情報流通技術基準）の引用文献を記述する方法について、(66)～(70)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

・単行本（図書）

著者名. (66) : (67) . 版表示, (68) , 出版年, 引用ページ.

※著者が複数いる場合には(69)で区切って列挙する。

・新聞記事

執筆者名. 記事名. 掲載紙名. (70) (朝夕刊の別) , 引用ページ.

解答群

- | | | | |
|----------|--------|----------|--------|
| a. ISSN | b. URL | c. 引用回数 | d. カンマ |
| e. 出版者 | f. 書名 | g. セミコロン | h. 発行年 |
| i. 発行年月日 | j. 副書名 | | |

問15-B 次の(71)～(75)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (71) HTML文書の本体を記述し、Webブラウザで実際に表示させる部分を囲むときに使用されるタグ
- (72) HTML文書の記述において、見出し用文字を表示するときに使用されるタグ
- (73) メールアドレスをグループで共有し、情報交換の手段として電子メールを活用する仕組み
- (74) RDFに基づいたXMLのアプリケーションの1つであり、ブログを使って情報を発信することができる仕組み
- (75) 2ちゃんねるなどの、不特定多数の人がアクセスし情報交換することを目的とするサービス

解答群

- | | | | |
|-------------------|---------------|-------------------|----------|
| a. <body>と</body> | b. <h1>と</h1> | c. <head>と</head> | d. PDF |
| e. RSS | f. シグネチャ | g. スпамメール | h. 電子掲示板 |
| i. ホームページ | j. メーリングリスト | | |

問16-B 次の(76)～(80)のキーワードにもっとも関連する語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (76) Microsoft社のWord、ジャストシステム社の一太郎、Apple社Pages
- (77) Microsoft社のExcel、ジャストシステム社の三四郎、Apple社Numbers
- (78) Microsoft社のPowerPoint、Apple社Keynote
- (79) Microsoft社のAccess、FileMaker社のFileMaker Pro、管理工学研究所の桐
- (80) Microsoft社のInternet Explorer、Google社のGoogle Chrome、Apple社のSafari

解答群

- | | | |
|-----------------|----------------|------------|
| a. PDF作成ソフト | b. Webページ閲覧ソフト | c. 画像編集ソフト |
| d. データベースソフト | e. 統計解析ソフト | f. 表計算ソフト |
| g. プレゼンテーションソフト | h. ワードプロソフト | |

問17-B 次の文章の(81)～(85)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

(81) データベースとは、表計算ソフトのデータベース機能と同じように、データを(82)と呼ばれる表の形式で表現する。表の(83)はレコードと呼ばれ、これがデータベースの(84)となる。レコードは複数の列によって構成される。これらは(85)と呼ばれ、同じ(85)(列)であれば異なるレコードであっても同じ種類のデータが記録される。

解答群

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| a. オブジェクト | b. 基本単位 | c. 行 |
| d. テーブル | e. ネットワーク型 | f. フィールド |
| g. リレーショナル型 | h. 列 | |

問18-B 次の(86)～(90)の各文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (86) プレゼンテーションソフトとは、授業や会議、研究発表、講演などで発表を行うための資料を作成し、それを表示するためのアプリケーションソフトである。
- (87) 発表用資料は、スライドという単位で作成される。それらを順番に表示させながら発表する。
- (88) スライドには、文字だけが使え、図や表、写真などの画像、動画や音声などは取り込むことはできない。
- (89) 発表用資料は、オーバーヘッドプロジェクタを通じてスクリーンに映しながら発表するのが一般的である。
- (90) 発表資料は配付用資料として印刷したり、HTML形式やPDF形式で保存することにより、インターネット上に公開することができる。